

3. 地域包括支援センターの運営について

(1) 平成 29 年度の実績について

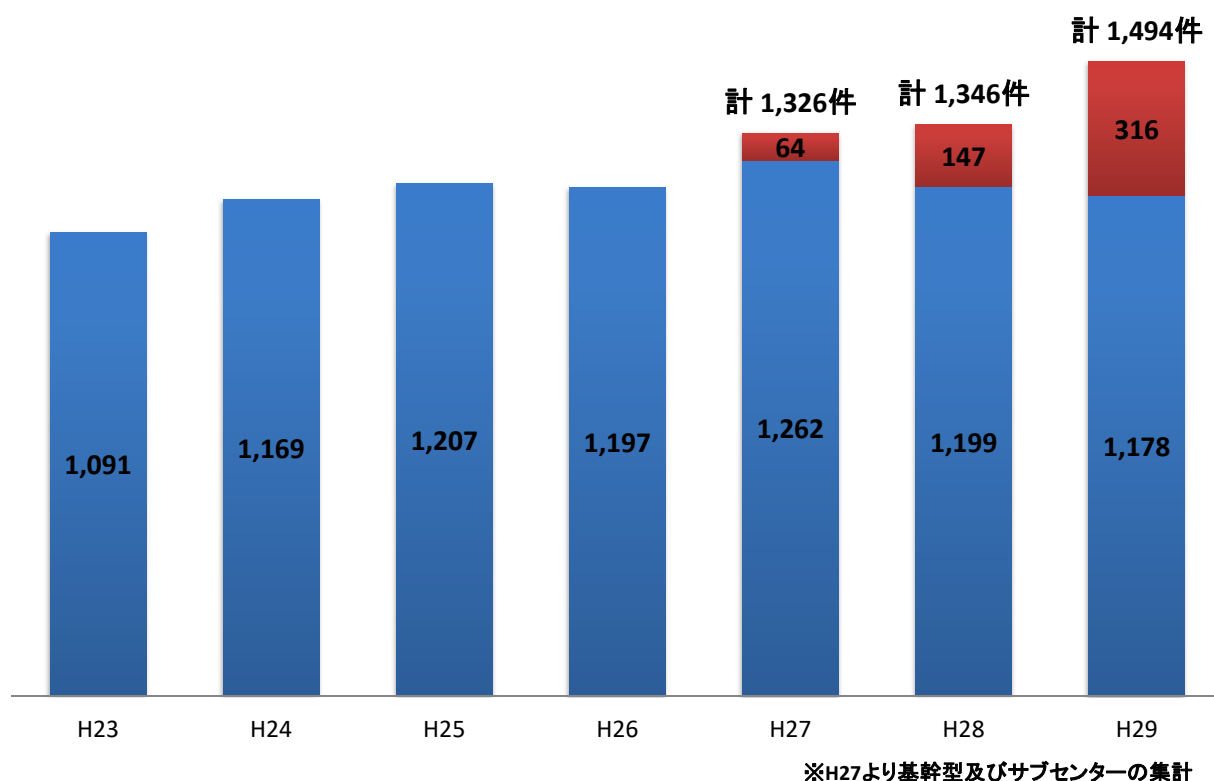


加賀市健康福祉部長寿課

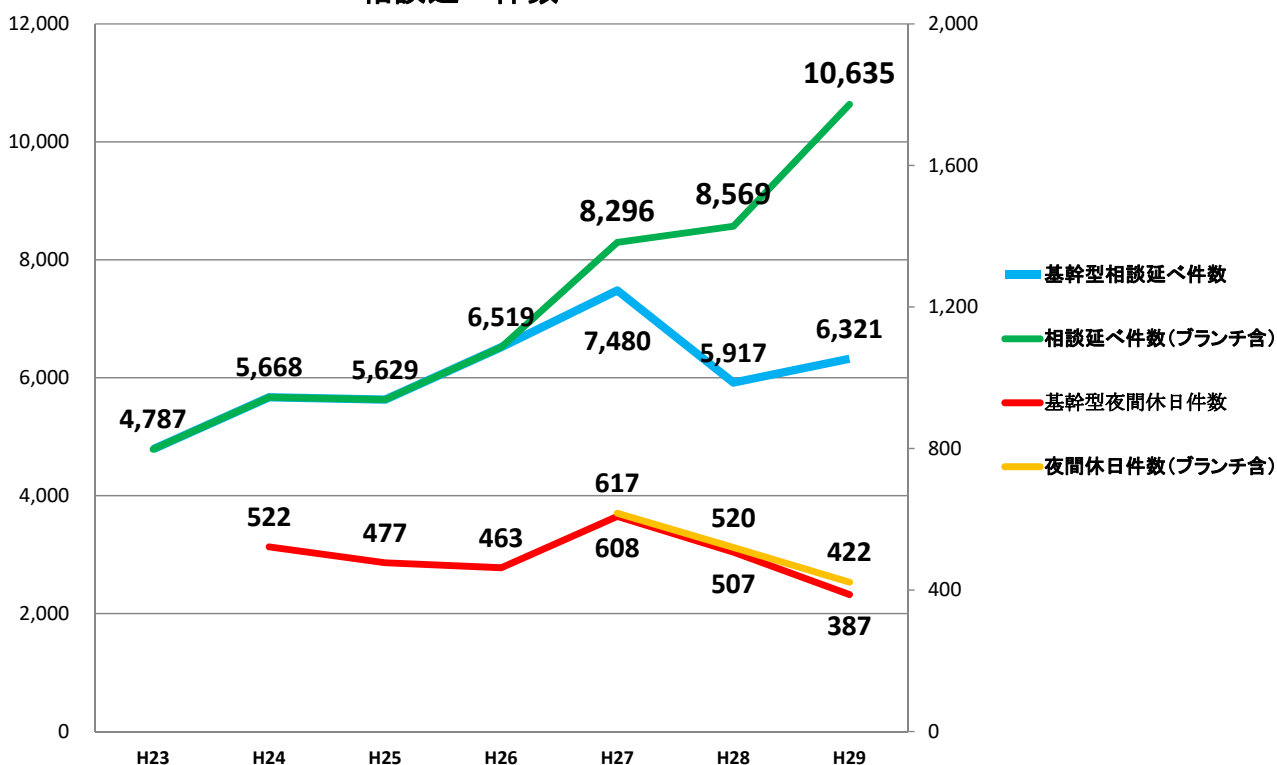
平成 30 年 6 月 21 日

地域包括支援センター 相談実件数

■ ブランチ実人数 ■ 基幹型実人数

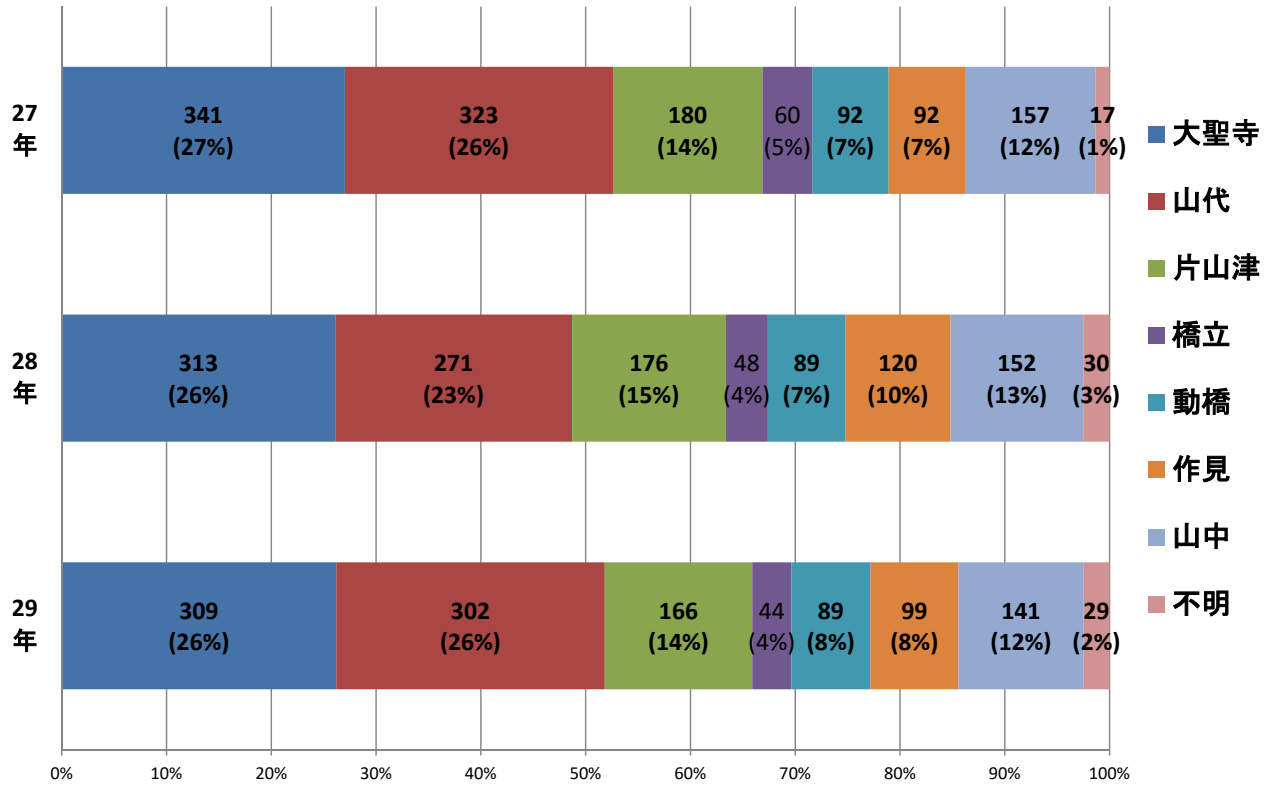


地域包括支援センター(基幹型・サブセンター・ブランチ含む) 相談延べ件数

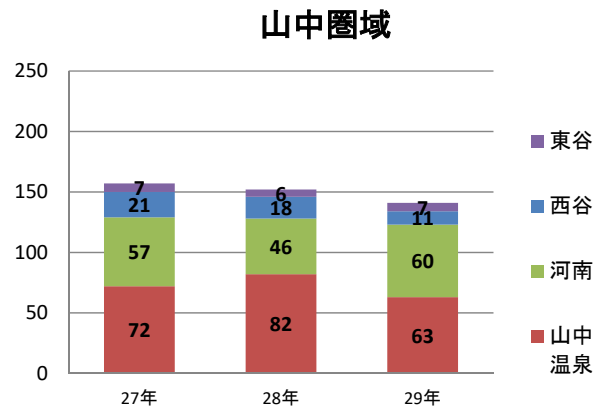
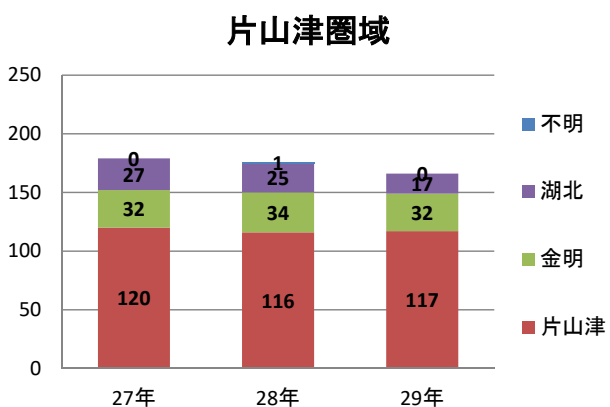
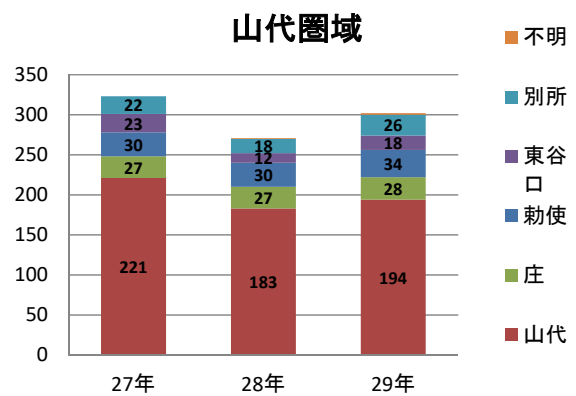
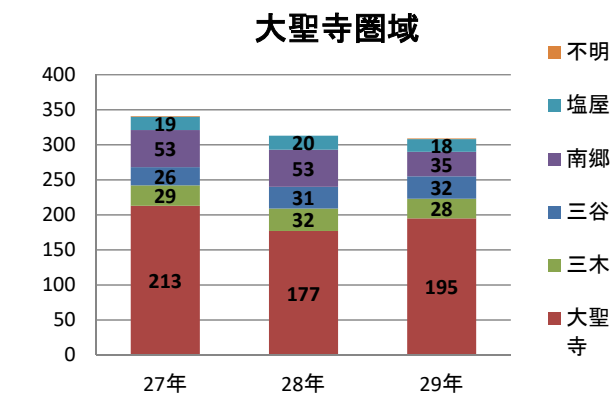


※H27より基幹型の件数は、基幹型及びサブセンターの合計

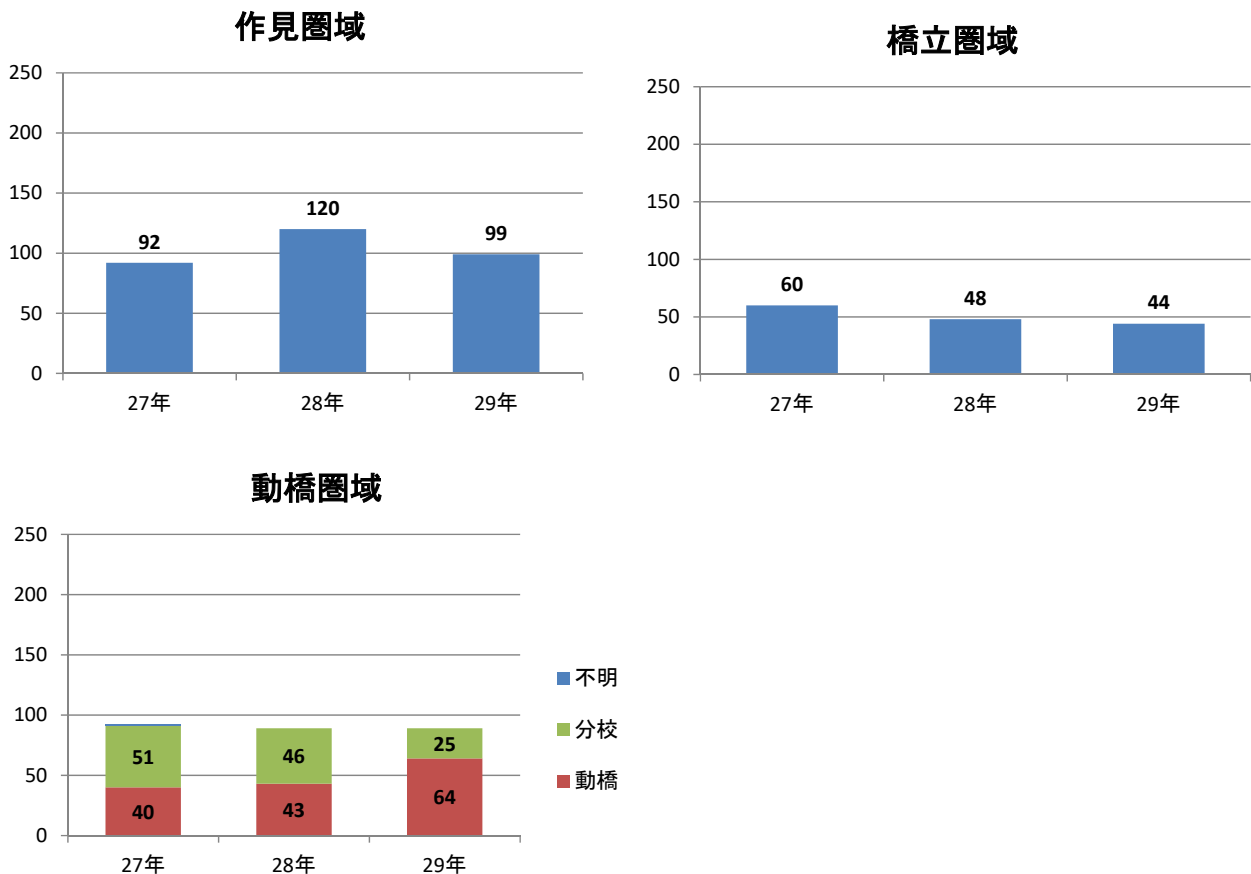
加賀市地域包括支援センター初期相談圏域別実件数 (ブランチ新規申請除く)



【圏域別】地域包括支援センター初期相談実件数(ブランチ新規相談除く)



【圏域別】地域包括支援センター初期相談実件数(ブランチ新規相談除く)



地域包括支援センターブランチの設置及び地域福祉コーディネーター業務委託

①ブランチの主たる業務

○地域の身近な窓口として基幹型地域包括支援センター(直営)につなぐこと

【事業内容】 地区の高齢者の個別相談、支援、個別の地域ケア会議等

【機能】 24時間365日の対応、必要時の訪問、緊急宿泊対応可能

②地域福祉コーディネーター業務の主たる活動内容

○友人、ご近所、世話焼さん、地域団体等の担い手とのコーディネートや個の支援をとoshi地域づくりに繋げること

【事業内容】 地域資源の把握、開発、関係者間の情報共有、交流活動の開催支援

【機能】 高齢者と地域資源をマッチングするためのコーディネート機能

地域の地域福祉活動拠点等後方支援

目指すべき姿

- ①早めの出会いと身近で相談しやすい拠点
⇒地域で身近な相談体制やすぐに駆けつけられる体制
- ②どんな状態になっても地域で暮らし続けられる体制
⇒介護サービス利用有無にかかわらず「柔軟性」「緊急時対応」「訪問機能の充実」が必要
- ③地域での住民主体の生活支援の体制構築
⇒介護問題を地域住民が自身のこととしても捉えられるような、地域全体で支える仕組み、機会の創出(高齢者の社会参加できる人はたくさんいる)

地域の身近な相談窓口(市内14カ所)

平成29年10月現在

地区の高齢者こころまちセンター をご利用ください

相談を受付し、必要な情報提供を行ったり、市役所内の基幹型高齢者こころまちセンターにつないだりします。



大聖寺
大聖寺なでしこの家
大聖寺番場町29番地4
☎72-1882
小規模多機能ホームきょうまち
大聖寺京町27番地
☎73-2117

南郷
小規模多機能ホームなんごうえがお
上河崎町才120番地
☎75-7815

山代
山代すみれの家
山代温泉ハ74番地5
☎77-1505
二丁対面型
小規模多機能ホーム ききょうが丘
山代温泉桔梗丘4丁目1番1
☎76-3660

庄
小規模多機能ホームいらっせ庄
庄町ル167番
☎74-5650

橋立
小規模多機能ホームはしたて
橋立町イ乙54番地1
☎75-7384

作見
小規模多機能ホームいらっせ松が丘
松が丘1丁目17番地8
☎72-2050

作見
小規模多機能ハウスさくみ
作見町カ132番地1
☎75-3315

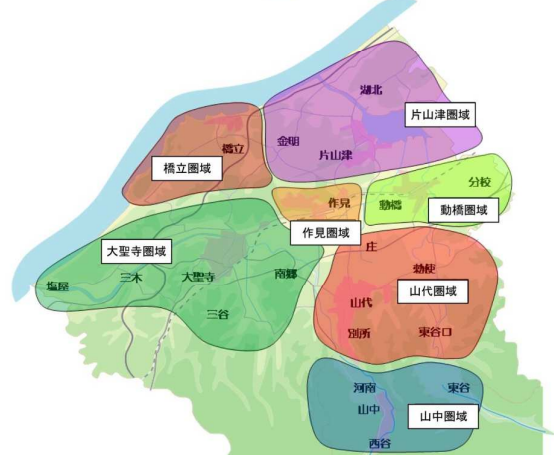
山中
富士見通りお茶の間さろん
山中温泉白山町ノ14番1
☎78-2555

片山津
小規模多機能ホームいらっせ湖城
湖城町3丁目125番地
☎74-8122

動橋
動橋ひまわりの家
動橋町イ19番地1
☎74-1611

金明
小規模多機能ホームぎんめい
野田町タ8番地1
☎74-7401

分校
小規模多機能ホームいらっせ分校
分校町リ338番1
☎74-1301



◎高齢者こころまちセンター 大聖寺南町二41番地(市役所別館) ☎72-8186 ◎高齢者こころまちサブセンター 作見町リ36番地(加賀市医療センターつむぎ内) ☎76-5131

平成29年度 地域包括支援センターブランチ相談等実績(日報より)

平成29年4月～ 平成30年3月	相談件数(件数を入力)											地域ケ ア会議 (個別) (件数)	社会資 源の関 わり (回数)	研修 連絡会 等 (回数)
	日中(日報合計①)					夜間(日報合計②)					全体 ①+② 合計			
	訪問	来所	電話		その他 (メール・文書)	訪問	来所	電話		その他 (メール・文書)				
		相談	連絡・調整				相談	連絡・調整						
大聖寺	430	28	44	37	1	1	0	0	0	0	541	9	109	83
南郷	68	22	68	131	8	0	0	0	0	0	297	6	136	39
山代	546	92	245	148	14	3	0	3	0	0	1,051	5	143	109
庄	34	1	8	16	3	0	0	0	0	0	62	0	13	22
片山津	272	16	124	50	2	0	0	0	0	0	464	0	17	48
金明	43	5	23	16	0	0	0	0	0	0	87	0	11	16
橋立	114	17	48	103	30	2	0	0	1	1	316	0	26	28
動橋	164	39	107	21	0	0	0	1	0	0	332	0	54	28
分校	17	1	2	1	0	0	0	1	0	0	22	0	6	14
作見	284	25	69	87	2	2	0	1	1	0	471	0	58	93
山中	365	78	104	101	5	3	0	14	1	0	671	2	86	40
合計	2,337	324	842	711	65	11	0	20	3	1	4,314	22	659	520
日中夜間 別合計	4,279					35								

4～9月：ブランチ11カ所の集計(大聖寺2、南郷、山代2、片山津、橋立、動橋、作見2、山中)
10～3月：ブランチ14箇所の集計(11カ所+庄、金明、分校)

※1 社会資源のかかわり:地域資源の把握を行うための民生委員の定例会、サークル等への顔出し等

平成29年度 地域包括支援センターブランチ相談件数

ブランチ新規相談受付件数集計(実件数)

(単位:件)

地区	新規相談受付件数 (総数)	新規相談受付件数 (包括経由)	新規相談受付件数 (包括経由除く)
大聖寺	107	79	28
南郷	29	18	11
山代	135	44	91
庄	10	2	8
片山津	62	27	35
金明	16	2	14
橋立	25	10	15
動橋	27	13	14
分校	4	2	2
作見	57	34	23
山中 (温泉、西谷、東谷)	91	16	75
合計	563	247	316

※ブランチ実績「新規相談受付一覧表」より集計

4～9月：ブランチ11カ所の集計(大聖寺2、南郷、山代2、片山津、橋立、動橋、作見2、山中)

10～3月：ブランチ14箇所の集計(11カ所+庄、金明、分校)

加賀市地域包括支援センター自己評価 (基幹型(サブセンター含む)・ブランチ)

【経緯】

「地域包括支援センター設置運営について」(老老発第1018001号)において地域包括支援センター業務を委託また直営の場合も市がセンターの運営方針を示すことが望ましく、平成28年3月『加賀市地域包括支援センター基本方針・運営方針』を策定。基本方針を自己評価項目に反映した。

【評価目的】

地域包括支援センターブランチ及び地域福祉コーディネート委託業務と基幹型地域包括支援センター(サブセンター含む)業務について、一定の基準にて評価し、その結果を活かしてより良い運営・実践に向けた取組みを推進することを目的とする。

【評価回数】

毎年度1回実施する。

【評価の仕組み】

(1) 運営内容を確認するための基準チェックシート

(2) 事業実施方針を具現化するための実践チェックシート

【評価の流れ】

- ・ブランチにおいては、事業所内の事業責任者及び管理者必須のもと、ブランチ業務にかかわる職員と基幹型地区担当職員とチームで取り組むことを基本とする。
- ・評価結果に関しては、運営推進会議に諮り、地域住民の意見をもらい改善すべき事項については、業務や取り組みに反映していく。

(1) 運営内容を確認するための主な内容

＜ブランチ＞

① 主な基準項目(評価シート1～11)

- ・職員の適正配置(専門職の確保)
- ・提出物の作成と提出状況
- ・緊急時、苦情受付体制整備、個人情報の保護
- ・ネットワーク構築、社会資源の把握と支援
- ・総合相談、介護予防の取り組み
- ・中立・公正性の確保

② シートの構成

- ・11項目27設問で全設問「はい」・「いいえ」で回答
- ・「いいえ」の場合は不十分という自己評価
- ・総評は包括地区担当職員ができているところやプロセスを踏まえ状況や改善策を記入

＜基幹型＞

① 主な基準項目(評価シート12～15)

- ・認知症高齢者支援、権利擁護、ケアマネジャー支援
- ・ブランチとの連携と支援

② シートの構成

- ・4項目11設問で全設問「はい」・「いいえ」で回答
- ・総評は所長・補佐・係長にて状況や改善策を記入

ランチ(14か所)	
①項目状況	・「いいえ」なし:5事業所、「いいえ」1項目:5事業所、「いいえ」3項目以上:3事業所
②主な「いいえ」の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題のまとめ、地区単位の地域ケア会議の開催が出来ていない。 ・苦情対応マニュアルやリスクマネジメントについて全職員の理解まで至れていない。 ・基幹型職員と協働して地域の課題をまとめられていない。 ・相談実件数が75歳以上の高齢者の1割程度ない。
③総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチ内で、全職員が情報の共有がおこなえるよう、ミーティングやノートなど活用している。 ・初期訪問や基本チェックリスト訪問は、対応できる職員を少しずつ増やしランチ全体で対応できる仕組みにしている。 ・地域の身近な相談窓口として認知され、ランチに直接相談することが多くなっている。(電話・来所) ・地域のサークルやサロン、民生委員の会合等出向き顔の見える関係づくりに取り組んでいる。 ・軒下マップを活用し、本人の「～したい」暮らしに着目し支援している。 ・相談ケースの課題から、地域の居場所など地域住民と共に一緒に考え展開している。
基幹型	
総評	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談機能の充実はランチとの体制により進めていく。また、地域課題の整理においては基幹型からもアプローチし地域ケア会議が実施できた地区もある。今後も、ランチ、地域と共に、地域ケア会議を通して地域づくりを展開していく。 ・地域包括支援センターの必須業務である「権利擁護・ケアマネジャー支援等」については、おたっしゃプランと連動し具体的に実施していく。

1. 平成29年度 ランチ勉強会実績

	日付	内容	参加人数
1	7月15日	<u>ランチ勉強会①</u> テーマ「地域福祉コーディネート業務の実際」	34名
2	1月10日	<u>ランチ勉強会②</u> ・ライフサポート「生命」「生活」「人生」ワークのあり方や方法を学ぶ ・実践事例を通して考える ・地域福祉コーディネートとは	37名 (包括含む)
3	3月3日	<u>ランチ勉強会③</u> ・ライフサポート「生命」「生活」「人生」ワークのあり方や方法を学ぶ ・地域福祉コーディネートとは ・実践事例を通して考える	34名 (包括含む)
4	10月5日	<u>面接技術研修①「かかわりとは」</u> (相談援助の基本のき) ・相談援助の基本姿勢につて ・人と状況の全体性等	24名
5	10月20日	<u>「面接技術②(面接技術の基本のき)」</u> ・ポジショニングや面接時の態度 ・面接の基本について講義及び演習	15名
6	11月13日	<u>「面接技術③(面接技術の基本のき)」</u> ・インテーク面接について(ロールプレイ)	14名
7	9月21日	<u>新規ランチ対象研修①</u> ・オリエンテーション ・加賀市地域包括ケアビジョンとは ・包括の機能ランチの役割	17名
8	10月13日	<u>新規ランチ対象研修②</u> ・介護保険制度 ・介護予防事業 ・相談の流れ	17名

2. 平成29年度ランチ連絡会実績

	ランチ連絡会開催日	参加人数 ランチ	参加人数 包括
1	4月14日	16人	11人
2	5月19日	19人	9人
3	6月2日	21人	10人
4	7月7日	20人	9人
5	8月4日	20人	9人
6	9月1日	19人	9人
7	10月6日	27人	9人
8	11月10日	23人	9人
9	12月1日	26人	10人
10	1月5日	22人	9人
11	2月2日	23人	10人
12	3月2日	17人	10人

* 10月より新規ランチ3か所増え全部で14か所となる。

* ランチ連絡会の後、4圏域でブロック連絡会を月1回開催している。